

裏磐梯の植物

裏磐梯の広大な湿地帯、高山草原、深い森には様々な種類の植物が繁茂しています。雄国沼周辺の湿地帯では、6月下旬から7月上旬にかけてツツジやニッコウキスゲの大群落がそれぞれ咲き広がります。標高の高い山腹では冬の間の激しい寒さと強風で、打たれ強い高山植物でも生存が困難です。しかし、青紫色のバンダイクワガタはこの厳しい環境に順応した種の一つです。他の顕著な植物では裏磐梯の多くの池の周辺にはヒメザゼンソウが、酸性水の五色沼の一部では苔の一種（ウカミカマゴケ）がびっしりと繁茂しているのが見られます。